

姉妹町多良木町との児童交流

絆

北と南で離れていても
限りなく近いき友情を



出発の朝、生涯学習センター・ぼろろに集合した児童10名は、大きな期待を胸に結団出発式を行いました。児童を代表して竹居田梓里さんが「多良木町のことをしっかりと学び南幌のことを伝えていきたいです」と決意表明を述べた後、たくさんの方々に見送られ笑顔で

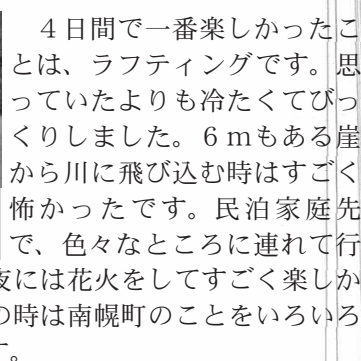
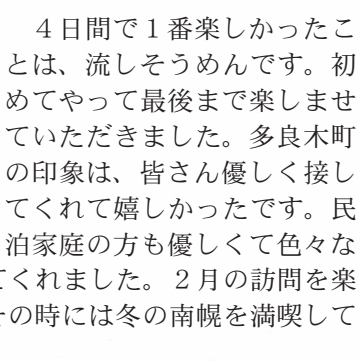
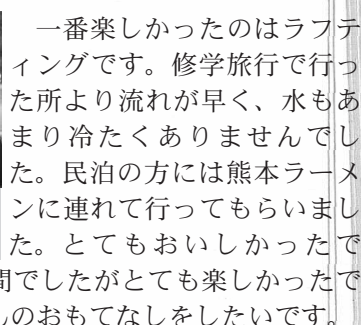
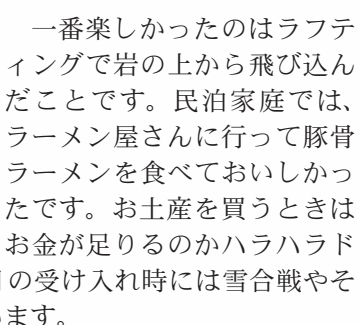
つて出迎えてくれました。

多良木町のバスに乗り人吉駅まで向かい、くま川鉄道の「田園シンフォニー」に乗り換えいよいよ多良木町を目指します。

多良木駅に到着し、大勢の方の出迎えを受けた後、隣接されている交流館石倉で歓迎レセプションが開催されました。多良木町の松本町長と黒肥地小学校の金子校長先生から歓迎の挨拶、久米小学校の田澤由依さんからは歓迎の言葉を頂きました。

南幌町からは、南幌小学校の新保教頭が訪問団長の挨拶

出発しました。
熊本空港に予定通り到着した児童たちは、移動の疲れも見せず「暑い！」「暑い！」の合唱でした。





ダイビング！



3日目の朝、民泊家庭でたくさんさんの経験をさせていただいた児童たちが、えびす広場に続々と集合してきました。いよいよ楽しみにしていた、日本三大急流の一つである球磨川でのラフティング体験からスタートです。皆で息を合わせてパドルを動かし、バランスをとりながらボートの上に立ったり、時には落とされたり、歓声を上げながら川を下りました。ゴール地点では高さ6m



多良木の味覚
食べまくり！



どんどん食べて～



の岩場から川に飛び込みました。「川の水が思ったより冷たかった。」と興奮しながらもラフティングを楽しみました。「二勝地温泉かわせみ」で体を温めた後は、昼食会場の宮ヶ野小学校へ向かいました。そこでは、多良木町役場の職員の方々を中心に、ヤマメの塩焼きや長い竹を利用した流しそうめん、バーベキューやおにぎりなどが用意され、屋外で美味しくいただきました。



不思議～

そこで、多良木町からビニール袋に入ったかき氷の差し入れがあり、南幌町の児童たちは初めて見るかき氷に驚きながらも「美味しい」と嬉しそうに食べていました。



歴史とロマン
の里を体感！

その後は、昨年7月にオープンした多良木町埋蔵文化財等センター「古代の風・黒の蔵」へ移動して、発掘された数々の文化遺産の展示を見学しながら多良木町の歴史を学びました。



堀幸翔君（右）と久米小／古川遥都君

多良木町で過ごした4日間です。みなさんとの楽しかった思い出がたくさんできました。1番楽しかったことが民泊した日のことです。いろいろなところへ連れて行ってもらいとても楽しかったです。訪問が終わってしまいとても悲しいです。受け入れの時には、北海道に来てよかったと思うようなおもてなしをしたいと思います。



竹居田梓里さん（左）と黒肥地小／桑原響子さん

多良木町を訪問して、たくさんさんのことを学習できました。その中で1番心に残っている事は、民泊家庭の方に連れて行ってもらった球仙洞でこうもりを見たことです。他にもいろいろな事を体験して楽しい4日間でした。2月に来るときは、また一緒に思い出を作りたいです。お世話になりました両町の皆さんありがとうございました。

最後のひととき…



楽しいけど、
でも、
ちょっと切ない
夜



夕食後は、多良木高校野球部のお兄さんたちとチーム対抗でミニバレーの試合や花火など、最後の夜を楽しみました。

その後、多良木高校セミナーハウスへ移動して多良木町職員と多良木高校野球部マネージャーの方々の手作りカツカレーをいただきながら、一日を振り返り話に花をさかせていました。



【4日目】 7月28日 お別れ会／熊本城

最終日の朝、多良木町役場でお別れ会が行われました。多良木町の松本町長からお別れの挨拶を頂き、南幌小学校の新保教頭が謝辞を述べ、お別れの言葉を多良木小学校の今井嘉駿君と南幌町児童代表の堀幸翔君が立派に発表しました。

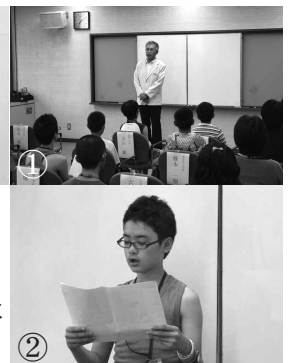


ぼろろに到着した訪問団

笑顔はじける子ども達

飛行機の中で十分休息をとった児童たちは元気いっぱいではぼろろに到着しました。そして出迎えてくれた保護者の方々の前で一人ずつ感想を述べて帰宅しました。自宅に帰ってからもお土産話は尽きなかったことでしょう。

- ③
- ①お別れ会
- ②堀幸翔君（南幌小）のお別れの言葉
- ③今井嘉駿君（多良木小）のお別れの言葉



会を約束して多良木町を出発しました。

その後、熊本城を訪れ高い石垣に驚いたり、天守閣からの景色を眺めたり色々とした。熊本空港で4日間お世話になった秋山さんと執柄さんにお礼を言いつて飛行機に乗り込みました。

訪問団引率者一同
台風12号の影響が懸念されましたが、雨風の影響もさほど無く、ほぼ予定通りのスケジュールで4日間を過ごすことができました。

多良木町での4日間は児童にとつて全身で体感し、全力で楽しんだ中身の濃い日々だったと思います。北海道では感じられない蒸し暑さ、長さ6キロもあるトンネル、怖いながらも飛び込んだ球磨川、長い竹を利用した流しそうめん、そして何よりも多良木の友達と仲良くなれたこと、その一つ一つが児童たちの成長の糧になるものと確信しております。

今回の児童交流であらためて感じたことは多良木町の人の優しさです。児童全員が多良木町の人々が優しく接してくれたことに感動していました。

多良木町の皆様、本当に心のこもった「おもてなし」をありがとうございました。

2月の来町を児童ともども心よりお待ちしております。